



上士幌中学校新校舎落成記念祝賀会

このほど完成した上士幌中学校新校舎の完成を祝う「新校舎落成記念祝賀会(新校舎落成記念協賛会主催)」が、山村開発センター大ホールで開かれました。

祝賀会には歴代校長をはじめとして、同窓会の会員や教育関係者、それに工事関係者など約80名が参加し、「旧校舎から新校舎へ」と題したスライド上映や現役上中生の吹奏楽演奏を鑑賞。最後は木下利弘落成記念協賛会顧問が万歳三唱で締めくくりました。

◀外構工事が完了し、玄関前に時計も設置された新校舎

校舎から新校舎へ

町産カラマツを使用した木造畜舎を見学



町産カラマツを用いて現在建築が進められている木造大型畜舎(床面積2,170㎡、収容頭数260頭、総工費約1億5千万円)の見学会が、ナイタイ高原牧場で開かれました。

木材の「地材地消」を進めている十勝総合振興局や町の主催で、見学に臨んだ

林業・畜産関係者約180人は、「牛へのストレスが少ない」「錆止めなどのメンテナンスが不要」といった木造畜舎の利点を熱心に聞いていました。

上士幌保育所で餅つき会が開かれました！



餅つきの歌が大合唱される中、つき手の塩澤さんには「がんばれーっ」と熱い声援が送られていました。



みどり館店主の牛角紀夫さんを講師に招き、上士幌高校3年生の12名が魚のさばき方やお寿司のにぎり方を学びました。

町内2団体が同時受賞する快挙！

第11回十勝環境賞・福祉賞の授賞式が帯広の北海道ホテルで開かれ、「十勝三股森づくり21(斉藤新一郎会長)」と「NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会(那須襄太郎会長)」が、十勝環境賞と十勝環境特別賞を受賞しました。

選考委員の中野益男帯広畜産大名誉教授は「目の届かない森での、息の長い活動に賛同しました」と選考の理由を述べ、十勝三股森づくり21が長年取り組んできた、十勝三股地区での森林再生事業を評価しました。またNPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会は、鉄道遺産を守りながら観光振興に寄与したことが認められました。11年を数える賞の歴史で、同じ町から複数の受賞団体が出るのは初の快挙です。



左から那須会長、佐藤信司十勝三股森づくり21副会長、林浩史十勝毎日新聞社社長



十勝環境賞・福祉賞 環境・福祉分野の優れた活動を顕彰するため十勝毎日新聞社が2000年に創設した賞で、今年28件の応募がありました。当町からは2002年に糠平小鳥の村が十勝環境賞を、2006年にNPO法人ひがし大雪自然ガイドセンターが十勝環境特別賞を受賞しています。

まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当

☎ 2-2111 内線 266 または E-mail ☉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください～





11/27(土)

☒ 書館講演会「にこにこぎゅっは愛の言葉」

39歳で絵の道を志し、44歳の時「ねこがさかなをすきになったわけ」でデビューした札幌在住の絵本作家・ひだのかな代さんの講演会が、生涯学習センター視聴覚ホールで開かれました。



ひだのかな代さん

講演会では、現在帯広にいるホッキョクグマのイコロとキロルをモデルにした絵本「にこにこぎゅっ」など、これまで手がけた4作品の制作エピソードを紹介しながら、ひだのさん自ら絵本を朗読してくれました。「動物を好きになる入り口になってくれれば」と語るひだのさんの作品は、図書館で貸し出しを行っていますのでぜひご利用を！

たいせつないのちのきょうしつ



12/11(土)

5・6歳児向けの生教育教室「たいせつないのちのきょうしつ」が、ふれあいプラザ研修室で開かれました。

町内の母親らで構成する「上士幌町生教育支援チーム」が手作りして実施したもので、この日は5組の親子が参加。教室では、生まれた時の喜びを改めて親子に感じてもらう「いのちのトンネルくぐり」など5つのプログラムが実施され、「世界に一つしかないみんなの命をこれからも大切に」というメッセージがチームメンバーから贈られました。



教室開催中の託児を手伝ってくれた上士幌高校のボランティアさん

11月26日(金)には、上士幌高校の高橋江恵(みずえ)先生を講師に招いての生教育学習会も行われました。



生教育 「性」を「生」ととらえ、命の尊さを感じながら正しく性について学べる機会を提供する取り組み。



キナ編み教室…12/3(金)

アイヌ文化活動アドバイザーの佐藤けさ子さんを講師に招き、アイヌ民族がチセ(住宅)の床に敷いていた伝統のむしろである「キナ」編みに挑戦しました。

まだまだあります！学習発表会



北門小学校&保育所…
11/20(土)

全校生徒の劇「のびのび島の人々」。

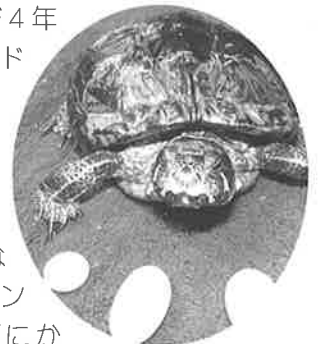


北居辺小学校&保育所…
11/20(土)

保育所の舞踊劇「こびととくつや」。

ミドリガメのゴンがまさかの産卵！？

3の2区の鈴木清さんが4年前から自宅で飼っているミドリガメの「ゴン(推定22歳・体長25センチ)」が、突如の産卵行動を起こして周囲を驚かせています。



家の中をウロウロするなど様子が変わったというゴンは、12月1日から10日頃にかけて、1個2～3センチの卵を計6個産卵。2011年は卵(うさぎ)年ということもあり、「亀としてうさぎに負けたくない気持ちがあったのでは」と飼い主の鈴木さんも感心しています。



広報かみしほろのブログ版を開設しました

町が運営するブログポータルサイト「かみしほろん.com」内に、広報かみしほろのブログ版を開設しました。ぜひご覧ください。

かみしほろん.com で検索！

携帯からもアクセス！⇒

